

第3次西東京市障害者基本計画・第7期西東京市障害福祉計画・第3期西東京市障害児福祉計画の概要

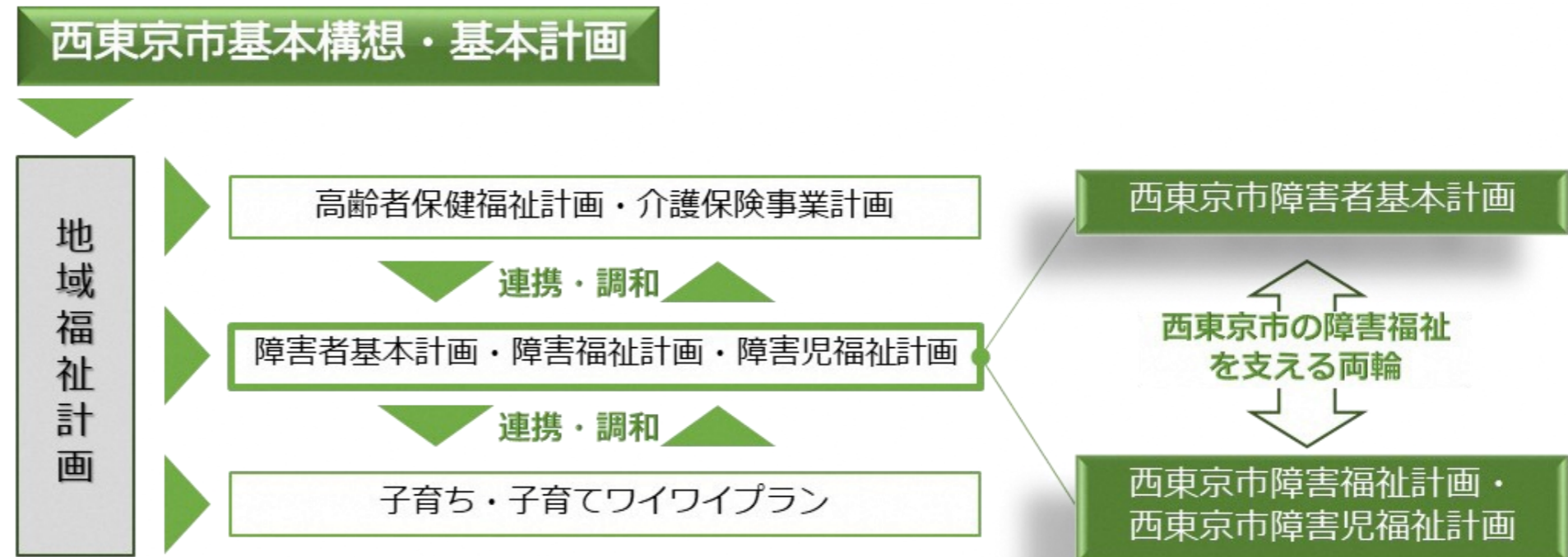
西東京市には、障害福祉に関する計画が3つあります。

計画名	計画の内容	根拠となっている法律
西東京市障害者基本計画	西東京市全体の障害福祉施策をまとめている計画	障害者基本法
西東京市障害福祉計画	18歳以上の、障害のある人や医療的ケアの必要な人などへの障害福祉サービスについてまとめている計画	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
西東京市障害児福祉計画	18歳未満の、障害のある子どもや医療的ケアの必要な子どもへの障害児福祉サービスについてまとめている計画	児童福祉法

障害福祉に関する計画は、市の地域福祉計画や高齢者福祉に関する計画、子ども・子育てに関する計画と連携・調和しながら策定されています。



「いこいな」
©シンエイ/西東京市



国内の障害福祉政策のポイント その1

近年、日本における障害福祉政策のポイントとして、主に次の12点が重視されています。

① 障害のある人の地域での生活への移行

入所施設から地域での生活に移行できる人の生活や環境面での支援の充実。

② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障害のある人が地域で生活するための医療や福祉的支援の充実。

③ 福祉施設から一般就労への移行

作業所などの福祉的就労から、一般企業等に就労したい人への支援の充実。

④ 障害児のサービス提供体制の計画的な構築

児童発達支援センターの機能強化と地域の様々な主体との支援体制の整備。

医療的ケア児に対する支援の充実

⑤ 発達障害者等支援の一層の充実

ペアレントトレーニング等の実施者の養成。

⑥ 地域における相談支援体制の充実強化

基幹相談支援センターの充実。

国内の障害福祉政策のポイント その2

⑦ 障害者等に対する虐待の防止

- 自治体による障害者虐待への組織的な対応の徹底
- 精神障害者に対する虐待の防止の徹底

⑧ 地域共生社会の実現に向けた取組

- 地域福祉計画との連携や包括的な支援体制の構築。

⑨ 障害福祉サービスの質の確保

- 相談支援専門員等への意思決定支援ガイドライン等を活用した研修等の実施

⑩ 障害福祉人材の確保・定着

- ICTの導入等による事務負担の軽減等の推進

⑪ 障害者による情報の取得利用・意思疎通の推進

- 障害特性に配慮した意思疎通支援や、支援者の養成等の促進

⑫ 難病患者への支援の明確化

- 計画策定にあたり、難病患者等からの意見の尊重

けいかく たいしょうしゃ 計画の対象者

ほんけいかく たいしょう ひと しょうがいしゃてちょう も ひと つぎ さまざま しみん しえんしゃ ねんとう さくてい
・本計画の対象となる人は、障害者手帳をお持ちの人だけでなく、次の様々な市民、支援者を念頭において策定しています。

しょうがいしゃてちょうしょじしゃ 障害者手帳所持者

- しんたいしょうがいしゃてちょう も ひと
・身体障害者手帳をお持ちの人
- あい てちょう りょういくてちょう も ひと
・愛の手帳（療育手帳）をお持ちの人
- せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も ひと
・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人

しょうがいしゃてちょう も 障害者手帳を持っていないくても

しょうがいふくしサービス ーびす りょう かた はんい 障害福祉サービスを利用できる方の範囲

- なんびょう わずら ひと
・難病を患っている人
- はったつしょうがい しんだん う ひと
・発達障害の診断を受けている人
- こうじのうきのうしょうがい しんだん う ひと
・高次脳機能障害の診断を受けている人
- いりょうてき ひつよう ひと
・医療的ケアを必要としている人

しょうがいしゃきほんけいかく 障害者基本計画

しょうがいふくしけいかく 障害福祉計画

しょうがいじふくしけいかく 障害児福祉計画

かぞく しえんしゃ ご家族・支援者

- とうじしゃ ほごしゃ しんせき
・当事者の保護者、きょうだい、親戚などの
ご家族
- しょうがいふくししせつ きょういくほいくしせつ いりょうきかん
・障害福祉施設や教育保育施設、医療機関、
ぎょうせい しえんしゃ
行政などの支援者

にしとうきょうし せいかつ とも しみん 西東京市で生活を共にしている市民

- となりきんじよ ひと
・隣近所の人
- がっこう きんむさき どうりょう ひと
・学校や勤務先の同僚の人

しょうがいしゃてちょうしよじしゃとう こんご ぞうか 障害者手帳所持者等は今後も増加

にしとうきょうし しょうがいしゃてちょうしよじしゃとう ねんねんぞうか
・西東京市における障害者手帳所持者等は、年々増加しています。

しんたいしょうがいしゃてちょうしよじしゃすう
身体障害者手帳所持者数

れいわ ねんど 5,906人、へいせい ねんど からの 5ねんかんで **1.1** ばい
令和5年度には5,906人、平成30年度からの5年間で1.1倍

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょうしよじしゃすう
精神障害者保健福祉手帳所持者数

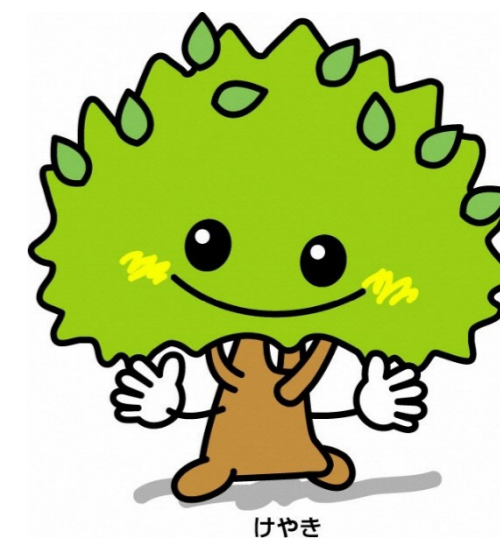
れいわ ねんど 2,471人、へいせい ねんど からの 5ねんかんで **1.4** ばい
令和5年度には2,471人、平成30年度からの5年間で1.4倍

あい てちょうしよじしゃすう
愛の手帳所持者数

れいわ ねんど 1,527人、へいせい ねんど からの 5ねんかんで **1.2** ばい
令和5年度には1,527人、平成30年度からの5年間で1.2倍

なんびょういりようじよせいしゃすう
難病医療助成者数

れいわ ねんど 2,358人、へいせい ねんど からの 5ねんかんで **1.3** ばい
令和5年度には2,358人、平成30年度からの5年間で1.3倍



(人)



しゅってん しょうがいふくしかしら
出典：障害福祉課調べ

そうじんこう へいせい ねんど
・総人口は平成30年度から

れいわ ねんど **1.01** ばい
令和5年度で1.01倍です。

しぜんたい じんこうぞうか はや
・市全体の人口増加よりも速

しょうがいしゃてちょう
ペースで障害者手帳

しよじしゃすう ぞうか
所持者数は増加しています。

障害や発達しょうがい はったつ しんぱいの心配こがある子どもは急増きゅうぞうちゅう中

とくべつし えんきょういく ひつよう しょうがくせい
 ・特別支援教育を必要としている小学生は、この数年で急増しています。

つうきゅうしどうがっきゅう りよう しょうがくせい
 通級指導学級を利用している小学生

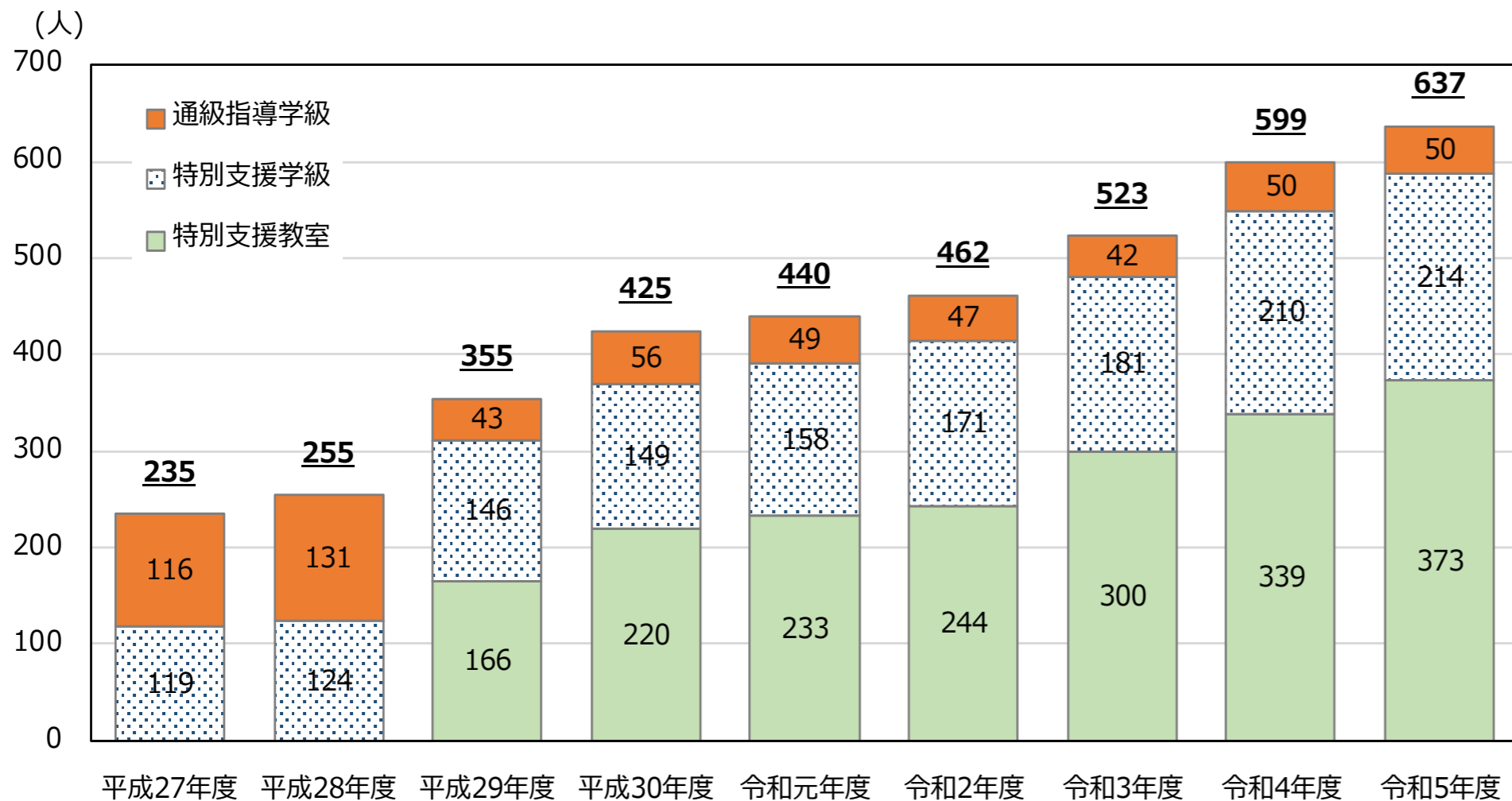
れいわ ねんど 50 じん、へいせい ねんど から5 ねんかん で 0.9 ばい
 令和5年度には50人、平成30年度からの5年間で0.9倍

とくべつし えんがっきゅう りよう しょうがくせい
 特別支援学級を利用している小学生

れいわ ねんど 214 じん、へいせい ねんど から5 ねんかん で 1.4 ばい
 令和5年度には214人、平成30年度からの5年間で1.4倍

とくべつし えんきょうしつ りよう しょうがくせい
 特別支援教室を利用している小学生

れいわ ねんど 373 じん、へいせい ねんど から5 ねんかん で 1.7 ばい
 令和5年度には373人、平成30年度からの5年間で1.7倍



さいい か ねんしょうじんこう
 ・14歳以下の年少人口は
 へいせい ねんど から れいわ
 平成30年度から令和5

ねんど 0.99 ばい
 年度で0.99倍です。

しょうしか はんめん とくべつ
 ・少子化の反面、特別
 し えんきょういく ひつよう こ
 支援教育の必要な子ど

ぞうか
 もは増加しています。

しゅつてん しょうがいふくしかしら
 出典：障害福祉課調べ



はなみずき

障害のある人等へのアンケート調査の結果 その1

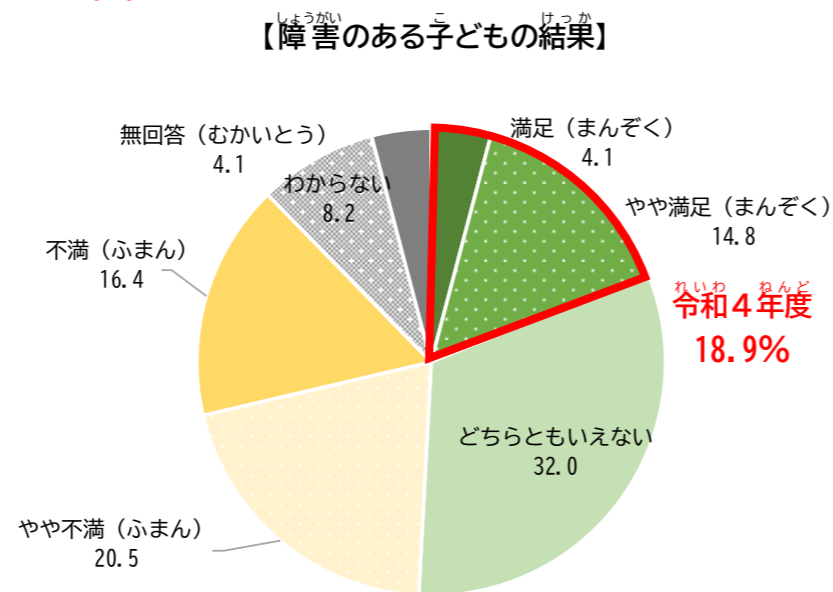
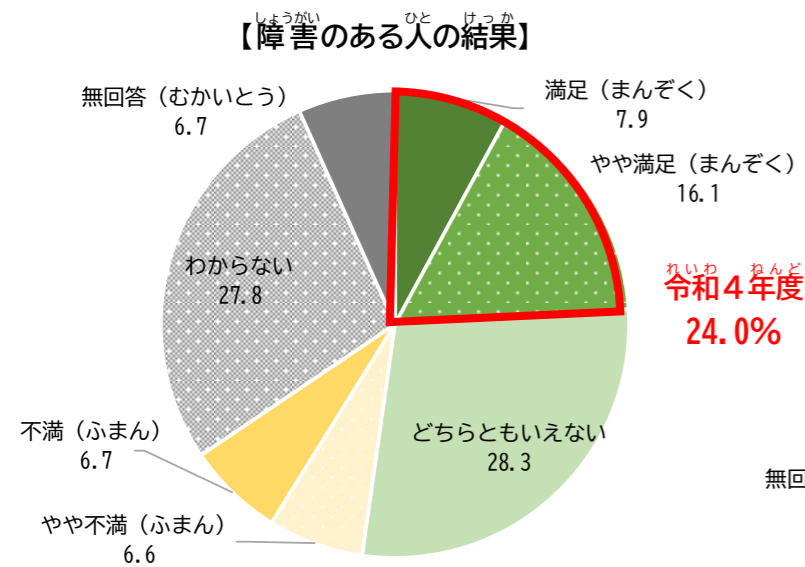
西東京市では障害のある人や障害のある子どもの保護者の意見を聞くために、令和4年度にアンケート調査を実施しました。

調査結果の一部をご紹介します。

西東京市の障害福祉施策への満足度

西東京市の障害福祉施策への満足度について、「満足」「やや満足」と回答

した人は、障害のある人では24.0%、障害のある子どもでは18.9%でした。

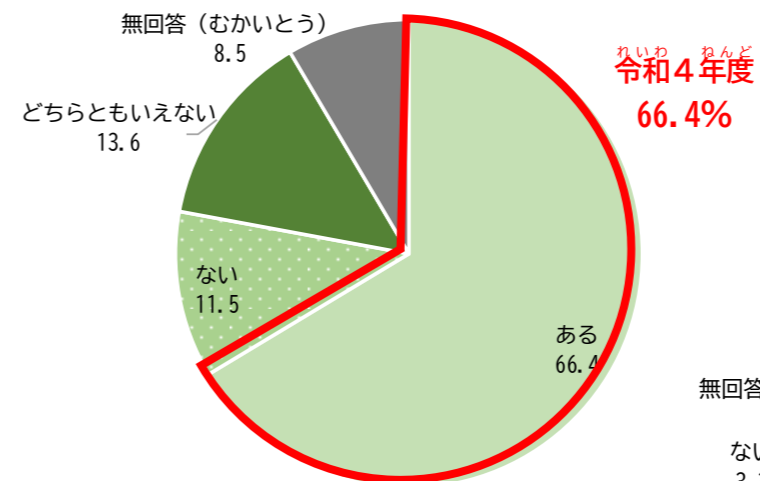


楽しみがある人

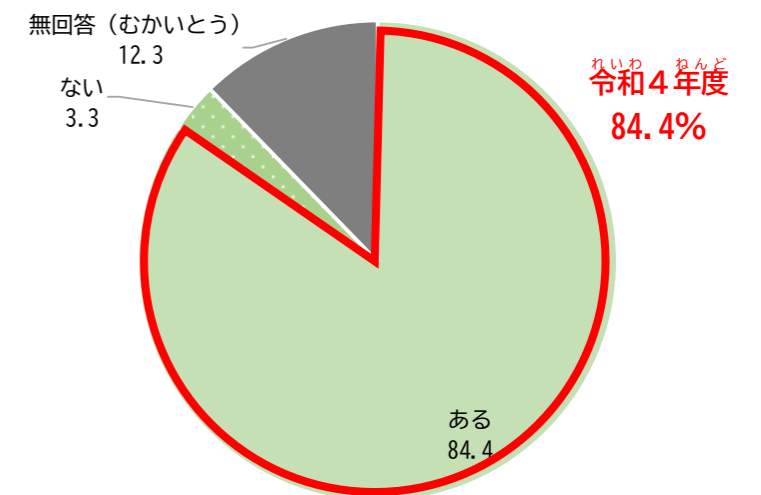
楽しみがある人は、

障害のある人で66.4%、障害のある子どもでは84.4%でした。

【障害のある人の結果】



【障害のある子どもの結果】



コスモス

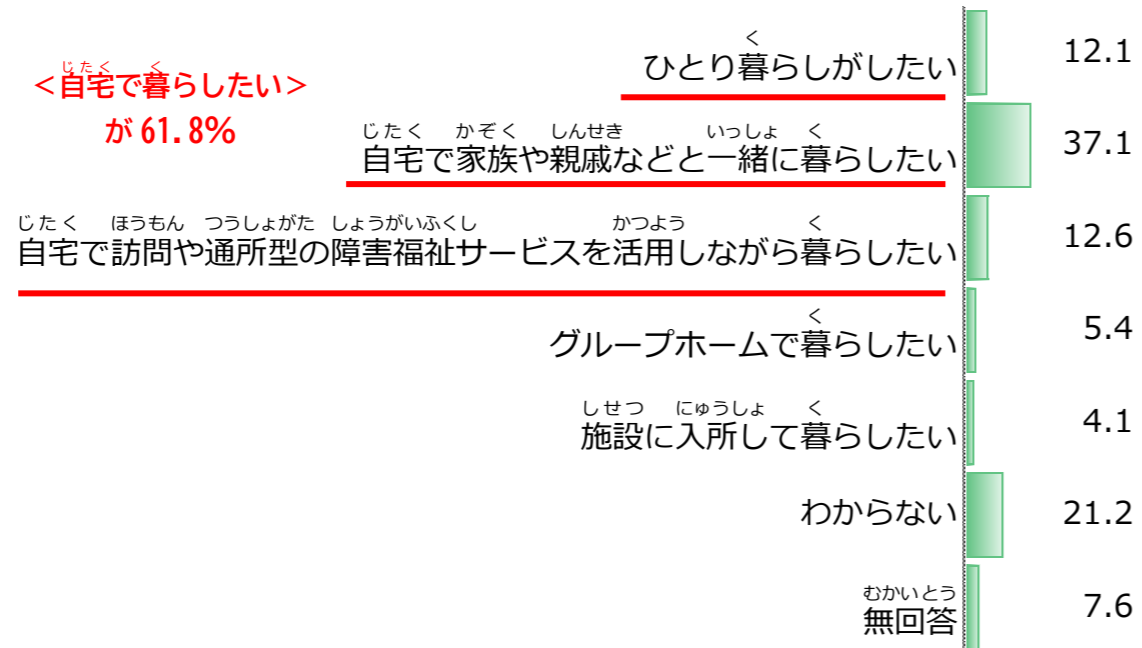
- ・ 障害福祉施策の質を高めることで、障害のある人が自分らしく暮らせる西東京を実現していきます。
- ・ 障害のある人や障害のある子どもの半数以上が、楽しみを持っています。

障害のある人等へのアンケート調査の結果 その2

今後、暮らしたい場所

これから5年後の暮らしのイメージについて、
『自宅で暮らしたい』と回答した障害のある人の61.8%でした。

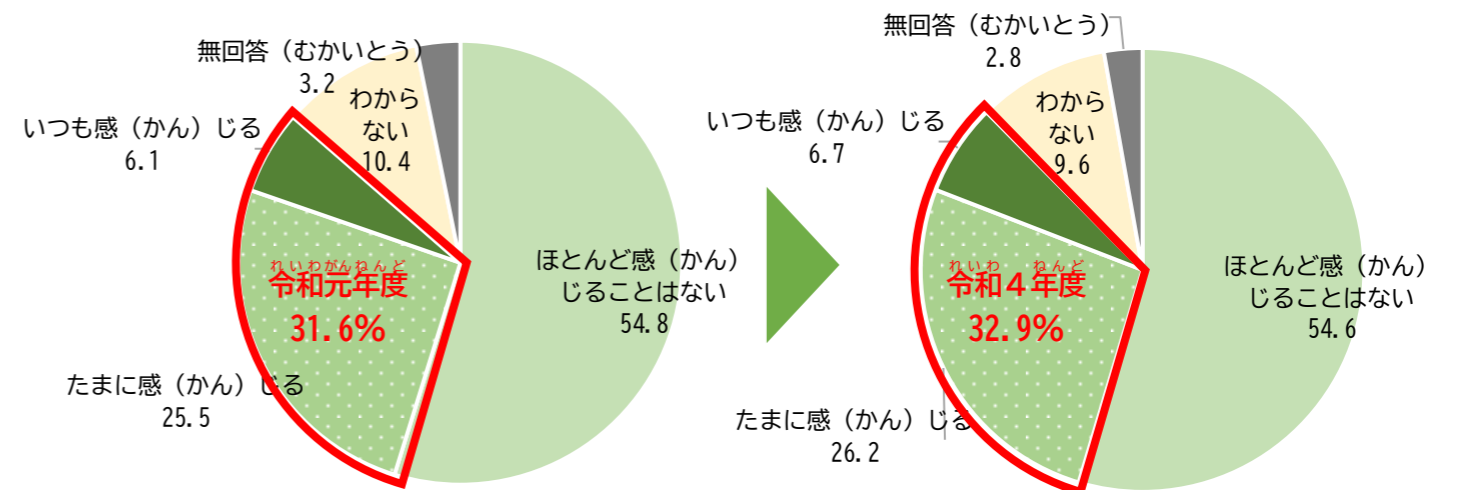
【障害のある人の結果】



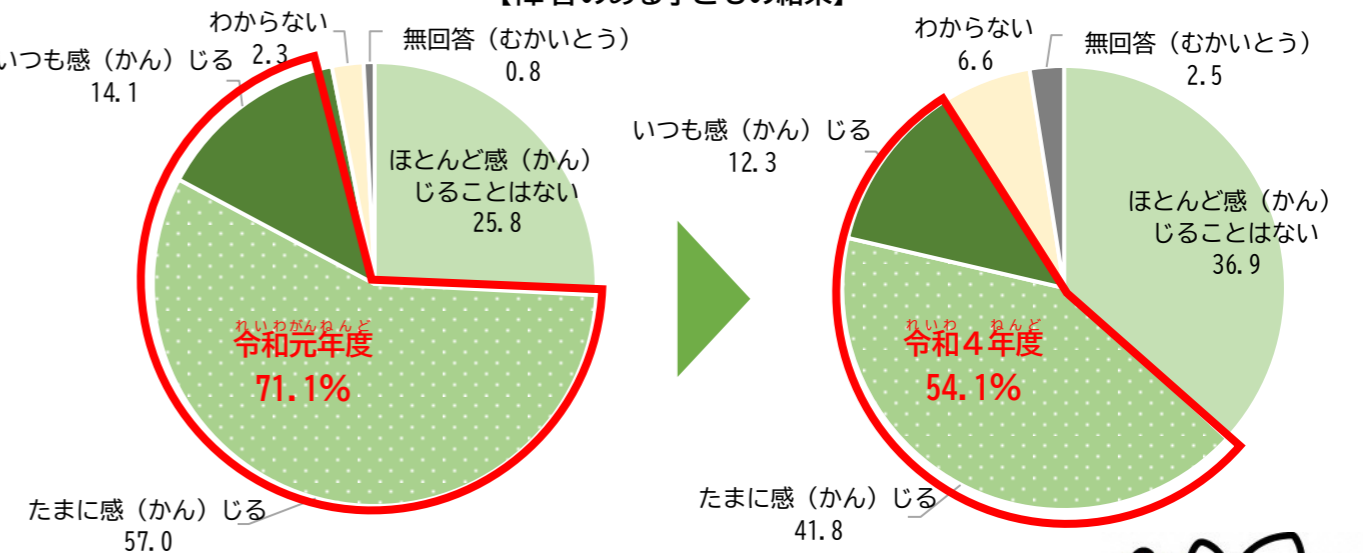
1年以内に差別等を受けた人

過去1年以内に障害を理由とした差別や嫌な思いをした人は、
障害のある人で32.9%、障害のある子どもでは54.1%でした。

【障害のある人の結果】



【障害のある子どもの結果】



- 障害のある人の半数以上が、自宅などの地域で暮らしたいと考えています。
- 障害のある人では、差別を受けた経験にこの3年間での変化はありませんでした。



すいせん